

オシャグジデンダとオシャゴジデンダ

横山健三

田中芳男編『羊歯分科名彙』（明治4年）に「羊歯自録 木曾社貢寺ノ森ニ生ズ因テ名ク」とあり、ヲシャグジデンダ・ヲシャゴジデンダ（下小文字）・三州信州箱根」とある。『羊歯目録』に長野・木曾の「お社貢寺」からの命名とあるという。

この『名彙』は刊行されなかったが、牧野富太郎氏が昭和4年の『植物研究雑誌』に次のように載せてある。

『日本博物学史』に1871年（明治4年）11月 田中芳男、『羊歯分科名彙』を編み、日本産のシダ類180余種の名称をあぐ。この書は刊行しなかった。」とある。

『国書総目録』に「羊歯目録（しだもくろく）一冊 植物 著 朝寝斎含嘲 写 国会 白井 日比谷 加賀」とある。

この『羊歯目録』にオシャグジデンダ・オシャゴジデンダの名前の由来が書いてあるという。

『羊歯分科名彙』にはイハデンダ・タチイハデンダ・短葉イハデンダ・毛茸イワデンダ・ツルデンダなどの名前が載っている。

以上、今分かっていることがらである。

私はオシャグジデンダとオシャゴジデンダの従来の名前の由来について疑問を持つ。

特にオシャゴジについて、オシャゴジは東京（江戸）の芝の高輪（たかなわ）にあった釈地大明神の俗称と云われる。

北左農山人作『南江駅話』（なんこうえきわ・明和7年・1770年）に「あの宮が釈地大明神といふ。それをあがめておの字を付け、言ひちがへておしゃごじといふわな」とある。

逸我作・北尾政美画『南極駅路雀』（なんごくえきろすずめ・天明9年・1789年）に「此間おしゃごじで見かけたといふものが有るぜ」とある。

『日本国語大辞典』に「おしゃごじ（御石神）。おは接頭語。しゃごじはしゃくじん（いしかみ）の変化した語。石杖、石剣、灵石、奇石の類を神体とした神。いしがみ。」とある。

山田美妙著『日本大辞書』（明治26年・1893年）に「おしゃぐじ（名）石神。道ばたなどにある石の神。主に坂東でいう。どうそじん・どうろくじん・おは敬語。しゃくじは石神を音読してなまったもの。」とある。坂東は関東地方のこと。関東語。

誰が命名したか。次のように解釈するのは、どうであろう。

オシャグジデンダの命名者は信州・長野に関係する人物である。信州・長野・木曾のお社貢寺（オシャグジ）から。

オシャゴジデンダの命名者は東京に関係の人物である。江戸・東京、芝の高輪の釈地大明神・御石神（オシャゴジ）からこのシダは初夏の頃になると着生した木から葉が落ちる。落ちると丸くなり、ゼンマイの葉が開かない時の格好・形状と、良く似ている。

デンダはゼンマイの方言である。

使用地域は岩手（下閉伊）・長野（下伊那）・愛知（北設楽）である。レンダ愛知東加茂も同系と見る。

デンダはデンダイウヤク（天台烏薬）の省略名である。烏薬ともいう。中国から享保年間に根の部分を薬用として輸入していた。デンダイウヤクとゼンマイは根の部分に類似を見たのである。似ている。

ゼンマイの方言・異名（ ）内は『日本植物方言集』・『日本植物方言集成』など書籍・『他』は地方の呼び名にする。（孢子葉と栄養葉との区別しない。）

- | | | |
|----------------------|-----------------------|------------------------|
| 1 アオゼンマイ・(山野草を食べる本) | 24 サルノコシカケ・大分直入 | 47 ゼンマイワラビ・長野伊那谷、福井今立 |
| 2 アワゼンマイ・熊本芦北 | 25 ジェンマイ・熊本玉名鹿本 | 48 ゼンミェア・秋田鹿北山仙由 |
| 3 イヌワラビ・(日本大辞書) | 26 ジェンメヤー・宮城仙台 | 49 ゼンミャア・熊本人吉球磨 |
| 4 ウシゼンマイ・宮城本吉 | 27 ジュメ・青森 | 50 ゼンミヤー・熊本菊池球磨 |
| 5 オトコ・長野伊那谷 | 28 ジュンメ・青森南津軽 | 51 ゼンメ・長野、鹿児島 |
| 6 オトコゼンマイ・長野伊那谷 | 29 ショリマ・(植物研究雑誌) | 52 ゼンメエ・宮城、新潟新津 |
| 7 オトコゼンメ・熊本、青森、岩手、宮城 | 30 センコ・千葉山武 | 53 ゼンメー・長野、新潟刈羽 |
| 8 オトコゼンメエ・長野、新潟、栃木 | 31 センゴ・千葉夷隅 | 54 ゼンメッコ・(山野草百科) |
| 9 オトコデンダ・長野伊那谷 | 32 ゼンコ・(きのこ木の実山菜) | 55 ゼンメノオバザ・長野伊那谷 |
| 10 オトコデンダワラビ・長野伊那谷 | 33 ゼンゴ・千葉山武夷隅 | 56 ゼンメヘコ・鹿児島薩摩 |
| 11 オトコデンメ・長野伊那谷 | 34 センコー・長州 | 57 タカノツメ・宮崎西白井 |
| 12 オニゼンマイ・長野和歌山 | 35 ゼンコー・長州 | 58 チドメ・岡山邑久 |
| 13 オニワラビ・(日本大辞書) | 36 センコウワラビ・千葉印旛 | 59 デンダ・岩手、長野、愛知 |
| 14 オニワロ・鹿児島出水 | 37 ゼンゴワラビ・千葉印旛 | 60 デンダワラビ・長野伊那谷 |
| 15 オンナ・長野伊那谷 | 38 ゼンザ・長野 | 61 デンマイ・和歌山日高東牟婁 |
| 16 オンナゼンマイ・長野熊本 | 39 ゼンザワラビ・長野伊那谷 | 62 デンメ・長野伊那谷 |
| 17 オンナゼンメ・長野 | 40 ゼンノキ・鹿児島 | 63 デンラ・長野伊那谷 |
| 18 オンナゼンメエ・栃木 | 41 ゼンベ・鹿児島曾於 | 64 トリッコバ・東京大島 |
| 19 オンナデンダワラビ・長野伊那谷 | 42 センマイ・宮城本吉（古語） | 65 ムラサキゼンマイ・(山野草を食べる本) |
| 20 カクマ・新潟佐渡 | 43 ゼンマイ・全国各地 | 66 ヤマシダ・(きのこ木の実山菜) |
| 21 カグア・新潟佐渡 | 44 ゼンマヒ・(倭訓栞大和本草) | 67 ヤマドリシダ・(きのこ木の実山菜) |
| 22 カツソコゼンマイ・青森東津軽 | 45 ゼンマイノオバザ・長野伊那谷 | 68 レンダ・愛知東加茂 |
| 23 コメゼンメエ・熊本芦北 | 46 ゼンマイワラビ・(植物和漢異名辞林) | 69 ワラビ・沖縄永良 |